

日本看護協会、日本医療機能評価機構医療事故防止事業部、  
日本医療安全調査機構医療事故調査・支援事業部、  
日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部、日本訪問看護財団、  
日本助産評価機構が、医療安全に関する最新情報を紹介します。

# 医療安全トピックス TOPICS

Vol.137

宮脇 英恵

日本看護協会看護開発部  
看護業務・医療安全課

## さらなる患者・利用者の安全確保・推進に向けた 2022年度の日本看護協会の取り組みについて

看護職の職能団体として、患者・利用者の安全と看護の質向上のために、さまざまな医療安全事業を展開している日本看護協会から、2022年度の取り組みを紹介します。

日本看護協会（以下：本会）は、人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献することを使命に、さまざまな事業を展開しています。

医療安全事業においては、看護の質の向上のために、看護が提供されるあらゆる場での安全の確保と推進をめざして、事故の未然防止・再発防止の視点で取り組みを進めてきました（図表1）。

2021年度は、あらゆる場における安全の確保・推進に向けて、特に小規模医療機関および介護保険施設に焦点を当て、具体的な支援の方策を検討しました。

また、医療事故調査制度における医療事故調査等支援団体として、要請に応じて、より円滑かつ適切に医療事故調査（院内調査）に必要な専門家の派遣を行えるよう、本会与都道府県看護協会の連携の仕組みの見直しを行いました。

2022年度は、都道府県看護協会との協働・連携の下、「事故の未然防止・再発防止の立案・実施の推進」と「あらゆる場における安全管理体制の整備の支援」の2つの柱で事業を展開する予定です。以下に概要の一部をご紹介します。

### ● 2022年度の医療安全事業について

#### 1. 事故の未然防止・再発防止策の立案・実施の推進

1) 看護職がかかわる重大事故撲滅のための活動およびあらゆる場の事故防止に向けた取り組みの促進

事故の未然防止・再発防止のための取り組みのうち、今年度は特に、看護職がかかわる重大事故撲滅のための活動と、あらゆる場における事故の未然防止・再発防止に向けた取り組みを強化します。

具体的には、①あらゆる療養の場において繰り返し発生している死に直結する事故の撲滅として、特にインスリンに関連した事故に焦点を当てること、また、②国による薬物療法の適正化に向けた対策強化と連動した取り組みとして、ポリファーマシー解消のための取り組みのいっそうの推進を予定しています。

そのためには、あらゆる場の医療・看護サービスの提供にかかわる多職種が連携し、組織的に取り組むことが重要です。そこで本会では、現場で活用できるような注意喚起のためのツール等を公表するとともに、あらゆる場における事故の未然防止・再発防止およびポリファーマシー解消に向けた組織的な取り組みの実践例を募集し、広く周知・共有していく予定です。